

会 議 録

(8-1)

会議の名称		令和7年度第3回春日部市総合教育会議	
開催日時		令和8年2月12日（木）	開 会 午後4時00分
			閉 会 午後5時00分
開催場所		春日部市役所本庁舎5階 市長公室	
議長(会長等)氏名		岩谷 一弘	
出席者	委員氏名	(出席人数：6人) 市長 岩谷 一弘 教育長 鎌田 亨 教育長職務代理者 小林 学 教育委員 岡田 新司 教育委員 山口 早苗 教育委員 高橋 朋子	
	説明者 その他	(出席人数：7人) 学校教育部長 篠原 直樹 学務指導担当部長 佐山 宏樹 社会教育部長 樋口 智 学校教育部次長兼教育施設課長 内藤 晋吾 学務指導担当次長兼指導課長 鶴見 和弘 社会教育部次長兼社会教育課長 関根 栄治 指導課教職員担当課長 瀬尾 尚丈	
	事務局	(出席人数：4人) 総合政策部長 川村 明 総合政策部次長兼政策企画課長 渡邊 賢秀 政策企画課政策企画担当主幹 小山 裕一 政策企画課政策企画担当主任 土居 昌弥	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		<次第> 1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 (1) デジタル社会に対応した図書館機能の充実について（意見交換） (2) 教職員の働き方改革について（報告） (3) 学校の美化について（報告） (4) その他 5 事務連絡 6 閉会	
		(全て公開)	

一部公開・非公開 の場合はその理由	非公開部分は、ありません。
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度第3回春日部市総合教育会議 次第・令和7年度第3回春日部市総合教育会議 座席表・令和7年度第3回春日部市総合教育会議 名簿・デジタル社会に対応した図書館機能の充実・教職員の働き方改革について・学校の美化について（令和7年度公共施設マネジメント研修実施報告）
会議録の作成方法	■ 録音テープ等を使用した要点記録
会議録署名の指定	市長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	<p>【1 開会】 ≪春日部市総合教育会議要綱第7条により、会議の内容全てを公開とすることの報告等≫</p> <p>【2 市長あいさつ】</p> <p>【3 教育長あいさつ】</p> <p>【4 協議・調整事項】 (1) デジタル社会に対応した図書館機能の充実について ≪資料に従い説明≫</p>
委 員	<p>マルチライセンスの場合、書籍の種類で費用が変わりますか。</p>
説明者	<p>一般的に、電子書籍の方がおよそ3倍の費用がかかるうえ、一定期間もしくは一定回数でライセンスが切れてしまいます。</p> <p>また、児童書読み放題パックの場合、読める回数に制限はありませんが、同じ本を継続して読めるようにするには毎年買い直す必要があります。</p>
委 員	<p>購入する書籍の選定にあたっては、あらかじめ利用者の需要などを把握したうえで検討しているのでしょうか。</p>
説明者	<p>お見込みのとおりです。</p>
委 員	<p>マイナンバーカードと利用券の連携で利便性は向上しましたが、プライバシーやセキュリティに不安をもつ方が一定数いるかと思えますので、不安を解消する取組に努めてほしいです。</p> <p>また、令和7年度7月から12月までの連携人数が56人とのことですが、大まかな年齢層を把握していますか。</p>
説明者	<p>年齢層は把握していません。</p> <p>全国的なマイナンバーカードの取得率は80%程度といわれています。現在のところ、マイナンバーカードとの連携は保険証や運転免許証など限られており、今後、他のサービスとの機能統合でより便利になれば、連携する人が増えてくると考えられますので、一層の普及啓発を進めてまいります。</p>
委 員	<p>使い方が分からなかったり、取組を知らないといった声もあるため、さらなる周知を進めていくと良いと思います。</p> <p>また低年齢層は紙の方が良いという子が多いようなので、紙と電子のバランスをとることが必要だと考えます。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>スマートフォンの普及に伴い、本を読む機会が減ってきたと思います。読書の入り口としてデジタルを活用するのは素晴らしいと思いますが、紙の書籍も大切なものと考えますので、バランス良く進めてほしいです。</p>
委 員	<p>この取組はいつから導入していますか。</p>
説明者	<p>平成29年からです。</p>
委 員	<p>良い取組だと思いますが、図書館利用者などにアンケートを行っていますか。</p>
説明者	<p>以前アンケートを行いました。紙の書籍の方がよいという声も一定数ありましたが、電子書籍が便利だという声もありました。</p>
委 員	<p>読み上げ書籍なども検討してほしいです。</p>
説明者	<p>現状取り扱っている約1万6千冊のうち、約1万2千冊は読み上げ機能があります。</p>
委 員	<p>非常に良いことだと思います。 マイナンバーカードの連携人数56人、LINE登録者数959人はあまりにも少ないため、もっと発信する必要があります。 電子書籍はライセンス費用がかかる一方で、紙の書籍は一度購入すれば長期間利用できるため、コストを比較しながら導入を検討した方が良いと考えます。</p>
教育長	<p>図書館に限らず、デジタル化は大きく分類するとハード面とソフト面があります。ハード面については、利用手続きをデジタル化することで利便性の向上が図られるため、市民にとってプラスに働くと考えています。まだ実績は多くありませんが、選択肢が広がったことは良いことと捉えています。あとはいかに周知し良さをPRしていくかが重要であるため、引き続き検討してまいります。 電子であっても他の人が借りていると読めなくなってしまうという部分においては、読み放題パックは非常に良いと思います。 今後電子書籍をどの程度拡充していくかについては、市民ニーズを把握し指定管理者と連携して検討する必要があると考えます。 最終的には、図書館の生命線は図書館でなければ読むことができないような専門書などの紙の図書だと考えるため、紙の図書の充実は図ってほしいと思います。デジタル化のみを追求するのではなく、ハード面はより良い方法を検討し、ソフト面はバランスを考えながら整備できるよう検討してまいります。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	(2) 教職員の働き方改革について 《資料に従い説明》
委 員	教職員は心身ともに健康であることが大切なので、社会全体で支えていけることを期待しています。また、いじめや不登校に対して、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの存在によって教職員の負担が軽減されていることは非常に重要だと考えます。同様に、過剰な要求をする親が増えつつあるため、スクールロイヤーを配置するなどの組織を設置することも必要になってくると思いますので、配慮をお願いします。
説明者	人の配置は重要と考えていますので、できるだけ実現できるように検討を進めてまいります。
委 員	健康でいることが一番だと考えますので、この取組は良いと思います。先生がバッシングされるが増えてきたと感じており、先生たちの心のケアのためにも、働き方改革は必要だと思います。
委 員	リアテンドントについて、確かに教職員の負担は減ると思いますが、テストでは採点だけでなく回答に対するフィードバックが必要であり、そこが考えられていないように感じました。 働き方改革については、現実として困ってる子がいたら帰れないような状況の中で、先生方が働きがいをもって児童生徒に向き合えるような方法を考える必要があると思います。
委 員	働き方改革が謳われている中でなぜ教職員を目指すのかと学生に聞くと、やりがいがあるからと答える人が多いです。 やりがいをもって務められることが核だと考えますので、それをソフト面ハード面含めて行政がサポートしていく形かと思います。 校務支援システムについては、学校間や市町村間で横の連携ができるとより良いと思います。 一方で、セキュリティの問題はクリアできているのでしょうか。
説明者	校務支援システムの利用にあたっては、先生個人に配布されたUSBキーと割り当てられたID・パスワードの2要素認証としているため、不正アクセスのおそれは非常に低いものと認識しています。 また、通信経路やサーバーを暗号化し、通信の傍受によるデータの流出についても対策を施しています。
委 員	先生方がやりがいをもって務められることが核だと考えますので、引き続き行政によるサポートをお願いします。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
教育長	<p>何をもって教職員の働き方改革とするかだと思います。教職員だけでなく、物流や工事現場、医療現場などでも働き方改革と言われていますが、教職員の働き方改革は、相手が人であることから難しい部分があります。そのような中で、国がやっと少しですが処遇の改善を図ったことは良かったと捉えています。</p> <p>教職員は教員という仕事やこどもが好きだからやっているといるという部分があります。</p> <p>先生方から、春日部市は働きやすいという声を聞きます。ウェルビーイングという視点においては、時間外労働は大変ですが、こどもと一緒に行事に取り組んだり、先生同士で意思疎通を図りながら仕事に取り組むことは、時間やお金では測れないものがあり、それを大事にしなければならないと考えています。</p> <p>国では令和11年までに時間外在校時間を月平均30時間にするように指導しています。これは、1ヶ月20日勤務とした場合に1日あたり1時間半となる計算です。一方で教職員の業務を見ると、朝の出席点呼に始まり、授業、給食指導、昼休みも何か対応が必要な場合もあり、放課後に会議があったり、中学校で部活動指導などがあると、それだけであつという間に退勤時間となってしまう、1日1時間半程度の時間外在校時間では足りないのが実情です。それでもこどもが好きというモチベーションで日々業務に取り組んでくれている先生方を、少しでも大事にするためにも何かできないかと考え、校務支援システムの導入やスクールサポートスタッフ全校配置によって、事務的な負担は多少軽減できていると考えています。リアテンドラントにつきましても、それを活用して処理するテストもあっても良いと思いますが、教員が丸付けを行い、だれがどこを間違えているかなどを把握することも大切ですので、負担が軽減できるものは軽減し、教員がやるべきことは教員がやる必要があると思います。</p> <p>ウェルビーイングを大切にしながら、行政ができることを考えて行く必要があります。不登校、部活動への対応を含めた働き方改革だと思いますので、財政面などについても支援をいただきながら、教育の質の低下にならないように、今後も各方面に協力を得ながら働き方改革を進めてまいります。</p>
委 員	<p>リアテンドラントによる採点だけでは分からない部分があると思いますので、大変だとは思いますが、点数だけでなく問題の質なども検討した方がよいと考えます。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	(3) 学校の美化について 《資料に従い説明》
議 長	<p>実際に携わった職員に話を聞いたところ、よい経験ができたとの声がありました。市民や子どもから声かけがあり、モチベーションにつながったのではないかと考えています。</p> <p>図書館のデジタル化については、バランス良く進めるのが良いとあらためて感じました。</p> <p>全庁的にも紙を減らそうとしているところですが、一方で自分で書くと頭に残るといったこともあり、これも重要と感じています。</p> <p>働き方改革については非常に難しいテーマだと考えています。</p> <p>労働時間を削減する分、人員を増やさなければいけません。例えば介護の分野などでは資格の有無によって分業するなど工夫して行っているところもあると聞いています。</p> <p>教職員の報酬はもう少し上げて良いという気がしています。</p> <p>今後なり手が減少することが想定されるため、ご理解をいただいた上である程度学校規模の適正化を進めつつ教員を確保していく必要があります。</p> <p>AI化など様々な世の中の動きがあり、人と人とのつながりが少なくなる中で、教育はそこが一番重要な部分であると考えます。先生方にやりがいをもって子どもたちと接してもらうことが大切です。教育委員会の要望にもなるべく応えられるように頑張りますので、ご指導を賜りたいと思います。</p>
議 長	<p>(4) その他 その他として、皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>《特になし》</p>
事務局	<p>【5 事務連絡】 1点お伝えさせていただきます。 令和7年度の総合教育会議は今回をもって終了となります。 来年度の日程等につきましては、今後、ご連絡をさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>【6 閉会】</p>

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和8年3月10日

署名者の職・氏名 春日部市長 岩谷 一弘 (原本は自著)